

スマートフォンを経由した 利用者情報の取り扱いに関するWG 発表資料

株式会社エル・カミノ・リアル
代表取締役 木寺祥友



木寺祥友 プロフィール

1986年より株式会社エル・カミノ・リアル（本社東京都港区南青山）の代表取締役。

25年以上に及ぶ日本のコンピューティング業界での経験、知識を元に数々プロジェクトに参加し、Java、アンドロイド、レスポンスWebデザインの考案にも携わっている。

1995年、株式会社NTTソルコのサイバーモール制作に参加し、日本人として初めてJavaを手がける。

その後、NTTドコモの504iシリーズの標準化プロジェクトに参画し携帯Javaの標準化に取り組む。現在は、政府系システムのオープンスタンダード化を推進するために発足された、

オープンガバメントクラウド・コンソーシアムの顧問および、Mobile Cloud Creationの顧問も務めている。

そのほか、2006年、米国のモバイルコンベンションCTIAにて、日本のモバイル事情の講演を行ったほか、国内外でモバイルコンピューティング関係の講演も多数行っている。

2011年に発売された近著「**Android・ジャパン —日本企業の命運を握るプラットフォーム—**」（インプレス）、
「**Javaを創った人々**」（アスキー）、「**今すぐできるiアプリ**」（インプレス）「**マックユーザーのための目標ナビゲーション**」（光栄）「**川柳で覚えるビデオ撮影術**」（光栄）など、多数の著書も持つ。

上海に在住していたこともあり中国語も堪能。

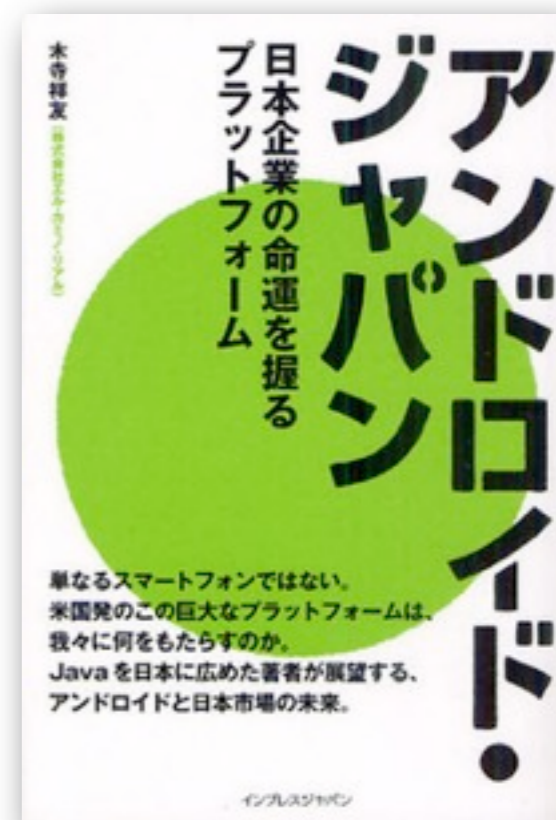
2012年より経営者歴25年を記念して「**実践！起業家ゼミナール**」を主催。

現在執筆中の書籍

「**夢をかなえるスマートフォン**」ダイヤモンド社

「**レスポンスWebデザイン**」リックテレコム

<http://www.facebook.com/kidera.yoshi>



スマートフォンにおけるHTML5の適用

- HTML5とアプリの関係
- アプリの利点
- アプリの欠点
- HTML5の利点
- HTML5の欠点
- HTML5の適用による利用者情報の扱い
- HTML5を利用したレスポンシブWebデザインについて



HTML5とアプリの関係

- アプリはダウンロードすることで、端末に保存されて利用するのに対し、
- HTML5ではブックマークすることによって、端末の待ち受け画面から利用する。
- アプリは読み込んだデータを元に画面表示するのに対し、HTML5ではオフラインでの利用の場合、以前読み込んだデータを表示させる。（アプリは通信機能を利用する場合、ブラウザ表示より遅い場合が多い）
- 携帯端末（スマートフォン、タブレット）はほぼ全てHTML5対応ブラウザである。

アプリの利点

- **端末のネイティブ機能にアクセスできることによって、様々な端末の機能を利用できる。**
- **ダウンロードすれば待ち受けに自動的にアイコンが設定される。**
- **アプリが流行になっている。**
- **ネイティブコードで書かれているので、操作する動作が速い（通信速度が速いわけではない）**
- **通信機能を使わなければ、一度ダウンロードすれば通信料金がかからない。（定額制なので通常は問題にならない）**

アプリの欠点

- 端末のネイティブ機能にアクセスできることは、端末に入っている全ての情報にアクセスできることであり、住所録などの重要なデータやカメラで撮った画像など、とてもプライベートな情報をアプリ制作者に提供することになってしまう。
- バージョンアップのみならずバグがあった場合でも、ユーザーにアップデートという煩わしい作業をしてもらわなければならない。
- 端末のメモリーを常時使用するので、少ない保存メモリーを使ってしまう。
- データ領域の空きが少なくなることで端末の操作速度が極端に遅くなる。

アプリの欠点

- 端末を買い替えた場合、もう一度ダウンロードしなければならない。
- ディスプレーの高解像度化の影響で解像度の高い端末が増えてきているので、その都度専用のアプリで対応していかなければならない。（端末の種類だけアプリが必要）
- 通信機能を使うのであればブラウザを利用してサイトアクセスしているのと変わらない。
- 初回ダウンロードに時間がかかる。
- iPhoneの場合、アップストアからしかダウンロードできない。

HTML5の利点

- ブラウザーを使ってコンテンツにアクセスするので、いつでも最新のデータを利用できる。
- バージョンアップ、アップデートの手間がない。
- 端末に入っている個人情報データにアクセスできないので、セキュリティ的に安全である。
- アプリから通信機能を使ってアクセスするより、データ取得が速い。
- アプリのようにローカルデータにもアクセスできるので、オフラインでも以前のデータを表示することができる。

HTML 5の欠点

- 待ち受けにアイコンを表示させるのに、手間がかかる。
(ブックマークして待ち受け画面からショートカットを選択)
- ブラウザー毎、若干JavaScriptのバージョンが違っているので、使える機能にばらつきがある。
- 端末の機能をコントロールすることができない。
- ツールアプリのように端末と一体になるようなものは作れない。

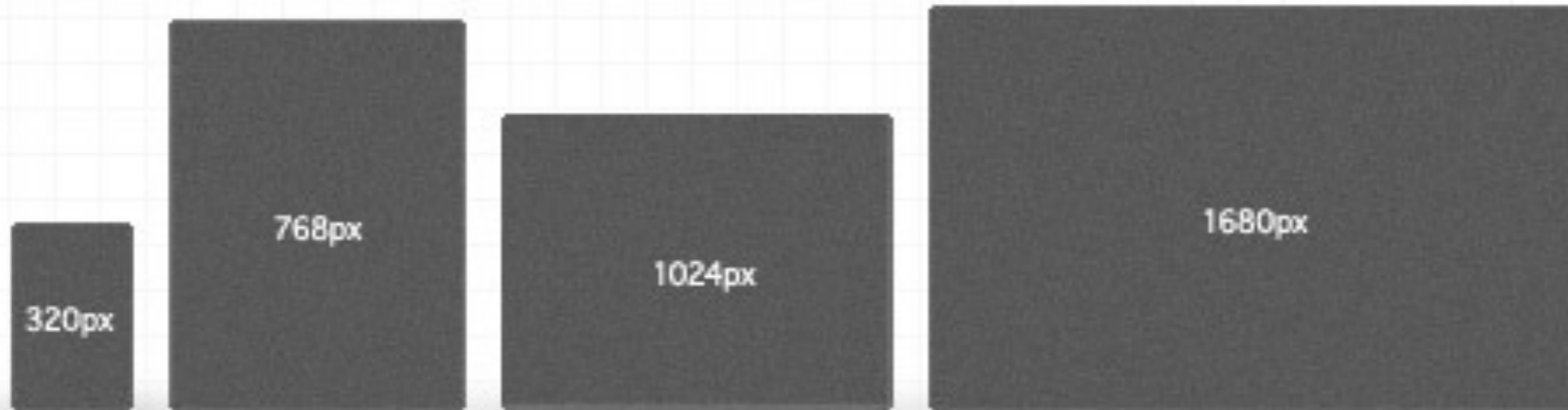
HTML 5の適用による利用者情報の扱い

- **利用者情報は端末のアプリ部分に格納されているので、HTML 5（ブラウザ）からはアクセスできない領域にある。**
- **このことは、通常のPCと同等のセキュリティー概念で充分であり、スマートフォンのアプリで問題になっている、利用者情報のアクセスを心配する必要がない。**
- **PC版のブラウザでもHTML 5が主流になりつつあり、PCのブラウザに対するセキュリティー対策がそのままスマートフォンでも生かされる。**

HTML 5を利用したレスポンシブWebデザインについて

- 端末の画面サイズに合わせてレイアウトを可変することによって、全ての端末に最適なレイアウトで情報を表示させることができる概念。
- PCでブラウザのサイズを可変させることによって、画面サイズ毎のレイアウトを確認することができる。
- スマートフォンやパソコンだけではなくスマートウオッチからスマートテレビまで最適な表示が可能
- HTML 5を利用するのでブラウザで表示が可能である。
- IE 7,8でもJavaScriptの工夫によって表示が可能。

HTML 5 を利用したレスポンシブWebデザインについて



SMARTPHONE

TABLET

NETBOOK

MONITOR

